

森と水を守る橋渡しになるプロダクト

おおさか河内材を使った新製品を開発し、地元郵便局で販売開始

Withコロナ時代にもマッチする、五感で感じる国産材に包まれた暮らし



クリエイティブ制作や「木の紙」の商品開発・販売を展開する「株式会社クレコ・ラボ」（所在地：東京都港区、代表：興津世禄）は、大阪府河内長野市など南河内地域9市町村の各郵便局（合計65局）にて、地元材である「おおさか河内材」を用いた商品の販売を開始しました。

クレコ・ラボは、水を育む森を守る活動を促進するため、国産木材を独自加工した「木の紙」を活用し、プロダクトへと展開する活動を2008年の創業時より行っています。林業の衰退により、人と森との関わりが少なくなってきた昨今、多くの森林が放置された結果として、雨水を貯蔵する緑のダムとして機能も果たしてきた森の多くがほったらかしの状態になってきています。

そこで森を守るための具体的なアクションの1つとして、国産材を活用したプロダクトを開発。

プロダクトを通して多くの方に木に触れる機会をつくることにより、適切な森林管理が促進されるよう、森と水を守る橋渡しとして活動を進めています。

その一環として、このたび大阪府河内南部エリアの地元の国産材を活用した商品「Osaka河内材ECOシリーズ」第1弾として、「おおさか河内材ひのきのマスクケース」、「おおさか河内材ひのきのはがき」、「おおさか河内材杉の木のストロー」の3商品を開発し、地元郵便局65局での販売を開始しました。

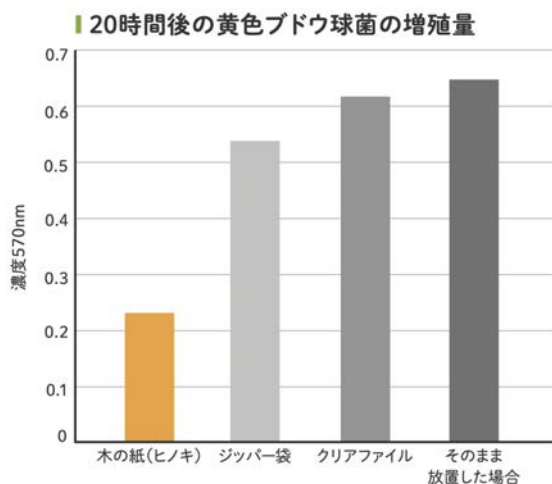
「おおさか河内材」の特徴は木目が真っ直ぐで切口が真円に近く、年輪の幅も緻密で均一。色合いも淡紅色で美しく、粘りがあり丈夫な良質材です。

また本品は、Sustainable materials（持続可能な素材）として、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」にも沿った環境に優しいアイテムです。

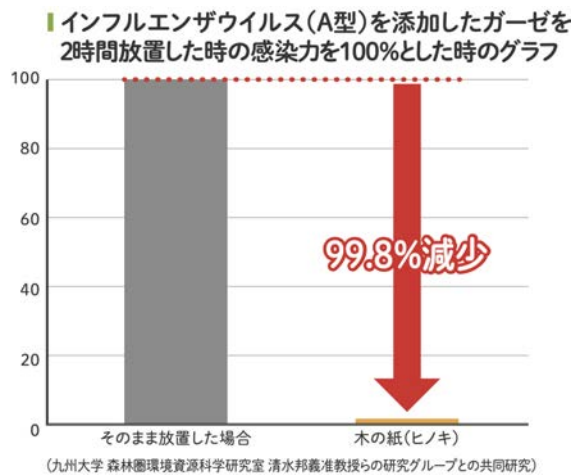
■おおさか河内材ひのきのマスクケース

〈商品特徴〉

- ・大阪府森林組合南河内支店から供給された、おおさか河内材を使用
- ・天然木ならではのひとつひとつ異なる風合いと、爽やかなひのきの香り
- ・最大重量約12g。デザイン性が高く、コンパクト、軽量で優れた携帯性
- ・3タイプのサイズをラインナップ（ノーマルタイプ/スリム/立体マスク用）
- ・触れている物質の細菌の増殖を抑制する作用※1がある
- ・触れているインフルエンザウイルスの感染力を低下させる作用※2がある






黄色ブドウ球菌を添加したガーゼを木の紙(ヒノキ)に挟んだもの、ジッパー袋で上下から挟んだもの、クリアファイルで挟んだもの、何も入れずそのまま放置したもの計4つのパターンで、37°C、20時間静置培養した。
(九州大学 森林圏環境資源科学研究室 清水邦義准教授らの研究グループとの共同研究)



〈九州大学 森林圏環境資源科学研究室 清水邦義准教授らの研究グループとの共同研究〉

〈商品詳細〉

ノーマルタイプ	スリムタイプ	立体マスク用
		
ベーシックなプリーツタイプマスクの収納用。 1個 ¥1,078 (税込)	マスクを半分に畳んでコンパクトに収納。 1個 ¥792 (税込)	立体タイプのマスクの収納用。 1個 ¥1968 (税込)

■おおさか河内材ひのきのはがき

木材を薄くスライスして貼り合わせた「木の紙」を張り合わせて作った、おおさか河内材の淡紅色の美しい木目を生かしたハガキです。

〈商品特徴〉

- ・大阪府森林組合南河内支店から供給された、おおさか河内材を使用
- ・天然の木の優しい質感、木の香りを楽しめる
- ・ひとつひとつ異なる、木目と色合い
- ・精細なフルカラーでレーザープリンター、オンデマンドプリントにも対応
- ・木目調をプリントとは異なる、樹本来の質感。

〈商品詳細〉



1枚 ¥220 (税込)

■おおさか河内材杉の木のストロー

0.15mm程度に極薄スライスした木のシートを独自の加工で巻き上げて仕上げたストロー。

「木を使う」ことで、森林のサイクルを経済的にまわし、水と森林問題に関して気づきを与え、「水」と深い接点を持つ「木のストロー」が橋渡し役となって、日本の水と森について関心を持ってもらうきっかけ作りを目指しています。

〈商品特徴〉

- ・大阪府森林組合南河内支店から供給された、おおさか河内材を使用
- ・天然の木の優しい質感、木の香りを楽しめる
- ・洗ってしっかり乾燥させることで、繰り返し（4-5回推奨）使用可能
- ・パッケージ入りで贈答用にも最適

〈商品詳細〉

マグカップや大きめの湯呑み、酒器、グラスなど、日常的に使う様々なサイズの器に合わせた3種類の長さをラインナップ。

温かい飲み物と合わせると、より豊かな香りが立ちのぼります。

※炭酸飲料には使用不可



- ・ 13.5cm（3本入り）¥550
- ・ 16cm（8本入り）¥1,100
- ・ 20cm（10本入り）¥1,650

[口径：約4mm]

■クレコ・ラボの水と森を守る橋渡しになるプロダクト

クレコ・ラボは、これまで水を育む森を守る活動を促進するため、以下の商品を手がけてきました。



木のストロー／ヒノキのマスク／木の名刺

■木の紙について

クレコ・ラボのオリジナル商品「木の紙」は、木材を紙のように扱えるよう独自加工した、新しい素材です。国産のスギ、ヒノキなどの間伐材を0.15mm程度の極薄にスライスし、独自の加工で仕上げています。本物の木を使っているからこそ、1枚1枚異なる木目や色味、ほのかな香り、木の質感をお楽しみいただけます。木材は、ヒノキ・赤松・黒松・琉球松・杉・桜など様々です。

■Sustainable materials（持続可能な素材）を使ったプロダクト

「持続可能性」をキーワードに、アメリカやヨーロッパでは、海洋汚染問題によるプラスチックストロー廃止の動きが活発化し、世界各国でプラスチック製ストローをはじめとする、使い捨てプラスチックに対する廃止の方向性が打ち出されています。クレコ・ラボでは、国産木材を太陽エネルギーを使って持続的に使える資源「Sustainable materials（持続可能な素材）」として、国産材を利用した木製商品の企画・製造に取り組んでいます。

■水と森を守る橋渡しに

日本は、国土の3分の2が森林に覆われており、そのうちの4割が人工林にあたります。人工林は人の手を加えていかなければ森林のバランスが崩れ、災害の要因に繋がります。クレコ・ラボは、これまで国産材を生活に取り入れたプロダクトを通して、一人でも多くの方に木に触れる機会をつくり、「国産材を使う（買う）」ことが人工林の保全活動となり、自然を守ることに繋がることを伝える取り組みを行ってきました。日本は「資源がない国」というイメージがありますが、世界でも有数の森林保有国でもあります。100年先も続く豊かな森林を創造するべく、これからも木を扱う楽しみや木材活用を通して森林資源の保持に繋がるこの活動を続けて参ります。

【関連サイト】

木のストローで森林と人とを繋いでいく（動画）：<https://youtu.be/qSjDpw1SVGU>

森林体験バーチャルツアー（360度コンテンツ）：<https://s.smapano.com/mori>

木のストロープロジェクトについて（漫画）：<https://forest.creco-lab.co.jp/comic>

水と森と木のストロー公式サイト：<https://forest.creco-lab.co.jp>

■企業情報

株式会社クレコ・ラボ

住所：〒105-0014 東京都港区芝2-5-10-1102

代表取締役：興津世禄

創立：2008年8月1日

URL：<https://creco-lab.co.jp/>

事業内容

クリエイティブ制作事業、商品企画・開発・コンサルティング事業、商品製造・販売事業

株式会社クレコ・ラボ」はSDGsの掲げる17の目標のうち、以下の取り組みを行なっています。 12.つくる責任とつかう責任、15.陸の豊かさを守ろう

